

— 市民がつくる市民のための地域環境情報誌 —

エコライフみしま



第 13 号
2009/5/1

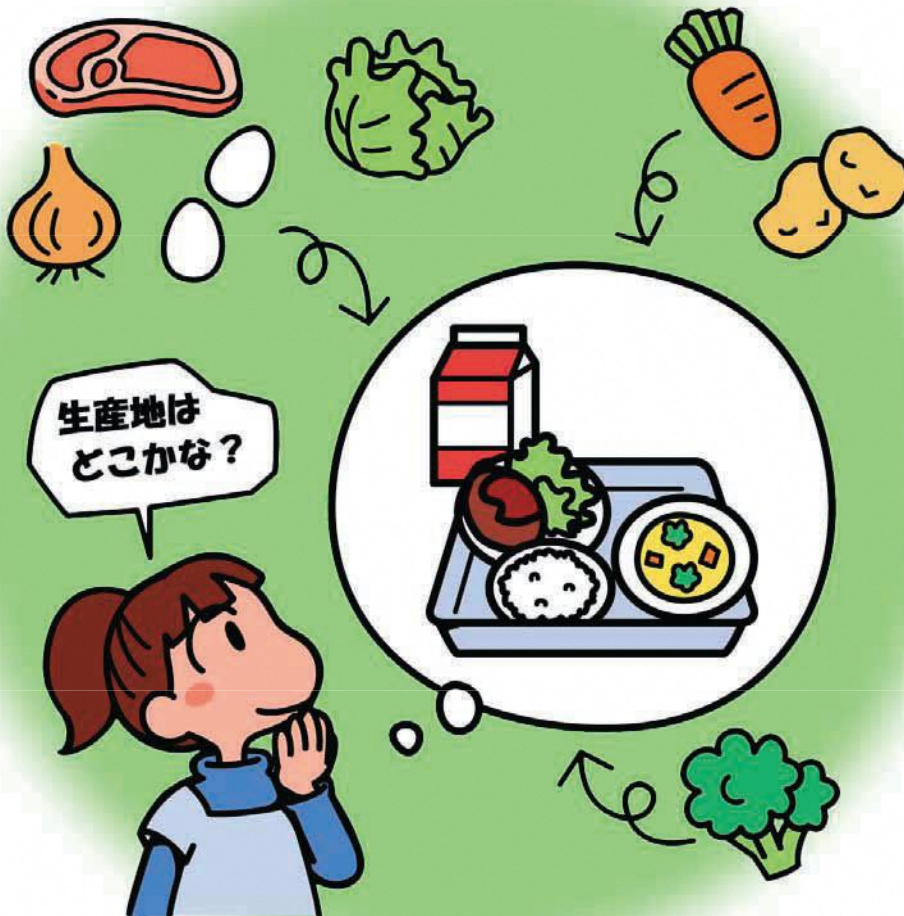
知っていますか？

市の鳥「カワセミ」市の木「イチョウ」市の花「三島桜」



- 特集「地産地消」…P2, 3
- お江戸でござる（江戸を支えた若者と食生活）…P3
- 環境活動紹介（エコリーダーの地域環境活動）…P4

地産地消を 味わおう



環境クイズ

やさいの匂を知っていますか？

①竹の子

②大根

③じゃがいも

④にんじん

⑤玉ねぎ

⑥白菜



答えは2ページ

地産地消を味わおう

エコライフを実践するには、生活の最も基本となる食生活を環境にやさしいものにすることが欠かせません。また、安全・安心な食生活にするためにはどうしたらよいのでしょうか。

その答えのひとつは「地産地消」。朝市・夕市、郷土料理などを通して楽しく、おいしく、地産地消を味わってみませんか。

朝市・夕市マップ



佐野地区のニンジン畑



JA 大社前 ↑
JA フレッシュ錦田店 →



安全・安心 エコライフ



長伏小学校 6年生の給食風景

(写真はイメージです。実際の生産物の流れと異なる場合があります。)

あなたのそばの朝市・夕市

市内のあちこちで、生産者や農協などによる朝市・夕市が開かれています。朝市・夕市の魅力をお客さんに聞いてみると、「新鮮でおいしい野菜を手軽に買える」、「生産者の顔が見えるので安全・安心」、「買うときにその野菜を使った料理の簡単なレシピを教えてもらえる」ということでした。とくに安全・安心という面では、市に出す生産者の中にはエコファーマーとして減農薬・有機肥料で野菜を作っている農家の方もいます。

また、常連のお客さんも「友人と連れ立って行くので市に行くのが楽しみ」という声も聞きました。

地産地消を身近に

朝市・夕市では若い人の姿があまり見られませんでした。市では新鮮な野菜が買えるだけでなく、地域の方との会話や交流も楽しめ、さらに、市に出すために朝早くから収穫している生産者の「新鮮なものを届けたい」という思いも感じられるので、地産地消を身近に感じるよいきっかけになるのではないのでしょうか。ぜひ一度近くの朝市・夕市に出かけてみてください。

そして、近くの八百屋やスーパーなどで買物をするときも、どこで取れたものかを気にしながら買物をしてみましょう。

クイズの答え ①4～6月 ②11～2月 ③6～8月 ④11～3月 ⑤4～6月 ⑥12～2月

No.	場所	日時	備考(駐車場など)
①	JA 北上支店 ＜JA フレッシュ＞	平日 9:30～13:30 土日 9:30～15:30	駐車場 ①約 20 台、②約 50 台 JA 会員農家が出店 野菜、果物、漬物、切花、米など
②	JA 錦田店 ＜JA フレッシュ＞	平日 9:00～13:00 土日 9:00～15:00	
③	静岡銀行中島支店駐車場 ＜毎土あり市＞	毎週土曜日 9:00～12:00	駐車場 5 台 JA 女性部(朝市の会)などの農家のほか周辺の商店も出店 野菜、うなぎ弁当、パン、切花など
④	JA 大社前支店	毎週土曜日 15:15～17:30(3～9月) 15:15～17:00(10～2月)	駐車場 20 台 山田野菜市組合による出店 野菜、お菓子、ケーキなど
⑤	常林寺駐車場 (本町 8-4)	毎週月曜日 15:15～17:00	駐車場 ⑤数台、⑥10 台、⑦なし 山田野菜市組合による出店 野菜、漬物、米、切花など ⑥では、干物、植木、衣料品も
⑥	温水池 はこね・すかいらんち広場	毎週日曜日 7:15～10:00	
⑦	はつね公園 (初音台 4-2)	毎週日曜日 7:00～8:00	

※山田野菜市組合は約30年間もいろいろな場所で朝市を続けています。また、みどりまつり(春・秋)、大通り宿場まつり、大通り商店街まつり、下田街道まつりなどのイベントにも出店しています

※売切れ次第閉店になることもあります。野外の市は雨天中止になる場合があります。

郷土料理「おざく」でエコ・クッキング

三島の郷土料理「おざく」はたくさんの野菜を使った汁もので、お祭りなど地域の人が集まったときによく作られていました。たっぷりと作って煮返すと味がしみこんでおいしくできます。

このおざくは大根、にんじんなどの根菜を中心にたくさんの野菜を使うので地産地消を味わうのにぴったりです。また、大根、にんじんは皮をむかず、しいたけも石づきの先だけ取って入れると、手間もごみも省けます。

お江戸でござる 江戸を支えた若者と食生活

江戸の人口は18世紀に入ると100万人を突破し、当時人口世界一だったロンドン(85万人)を抜いて人口世界一の都市となりました。これは参勤交代や開発が進み若い男性の職人や労働者が多数流れ込んだことによります。

人口がここまで増加しても、日本は島国で山海の幸に恵まれており、旬の食材がおいしく、働きざかりの若者は朝から「おあさ(朝食)」、「おちゃ(お茶)」、「おひる(昼食)」、「おこじよ(おやつ)」、「ようめし(夕食)」と一日3～5食も食事をしていました。

「おざく」レシピ

(4人分)

材料

大根	1/2 本	
にんじん	1 本	
ごぼう	1/2 本	
里芋	5 個	
こんにゃく	1 枚	
干しいたけ	6 枚	だし汁、しょうゆ
油揚げ	3 枚	酒、みりん



作り方

- ①干しいたけをもどしてだし汁を作っておく。
- ②ごぼう、こんにゃくは湯がいておく。
- ③大根、にんじん、しいたけ、ごぼうを適当な大きさに切り、たっぷりのだし汁で煮る。
- ④一煮立ちしたら里芋、こんにゃく、油揚げを入れる。
- ⑤野菜が煮えたら、しょうゆ、酒、みりんで味を付ける。

* 野菜の切り方や味付けは家庭により異なります。

* 冷蔵庫の中の残りの野菜も使ってみてください。

「エコ・クッキング」は、東京ガス㈱の登録商標です。

「地域の環境は地域で守り育てる」 エコリーダーの地域環境活動

エコリーダー活動全体会

3月25日(水)、市役所において平成20年度の「エコリーダー活動全体会」が開かれました。

全体会では普段地区ごと(北上、旧市内、錦田、中郷)に環境活動を進めているメンバーが集まり、1年間の活動の成果や課題を発表し、意見交換を行いました。

北上

- ・沢地川地域花壇づくり(通年)
- ・北上文化プラザ祭りへの出展



地域花壇
沢地幼稚園の子どもたちにも手伝ってもらいました。

課題や新規活動の計画

- ・会報を作って地域に回覧し参加者を増やしたい。

錦田

- ・山田川自然観察ウォーキング
- ・山田川流域自然観察マップの完成
- ・夏まつりでの「拾えば街が好きになる運動」への参加



山田川
自然観察
マップ

課題や新規活動の計画

- ・山田川での水生生物観察会
- ・マップを活用した環境教育

旧市内

- ・環境パトロール(第2土曜日)
- ・環境探偵団への参加



環境パトロール
小学生も継続的に参加しています。

課題や新規活動の計画

- ・小学生の参加者を増やしたい。
- ・名所めぐりエコウォーキングの開催

中郷

- ・ごみ拾いウォーク(パサディナ)
- ・中郷史跡めぐり(兼ごみ拾い)
- ・休耕地での花や野菜の栽培(2月から)



ジャガイモの植付け
はったばた幼稚園の子どもたちが参加してくれました。

課題や新規活動の計画

- ・栽培活動を充実していきたい。

みなさんも地域での環境活動に参加しませんか。
お問い合わせは下記、環境政策課へ

【編集後記】



食生活の基本となる農作物の安全性は市民の安全に欠かせないもののひとつです。

今回の特集記事取材のため、ある生産者と面談しました。そのとき、「エコ」というものを考えて仕事をしている。具体的には、土づくりから出荷まで創意工夫している、とのことでした。

地産地消をめざして、もう一度「もったいない」を意識しつつ、生産者と消費者が共生できることを確認できました。(な)

編集スタッフ(市民ボランティア)

飯田喜一・岩田明彦・大村洋子・河嶋禧男・佐伯忠夫・柴原俊介
重間良子・鈴木忠宣・鈴木祥子・永嶋章吉

<http://www.city.mishima.shizuoka.jp/> (広報みしまと一緒に掲載中)

第13号(5月・10月の年2回発行)

平成21年5月1日発行
〒411-8666 静岡県三島市中央町5-5
三島市役所中央町別館
環境政策課内
「エコライフみしま」編集事務局
TEL:055-983-2647
FAX:055-976-8728
E-mail:kankyou@city.mishima.shizuoka.jp

エコライフみしまは再生紙を使用しています。
この再生紙も、さらに再生可能な資源古紙です。